令和6年第1回

中札内村議会臨時会会議録

令和6年1月25日（木曜日）

◎出席議員（8名）

1番	船田幸一君	2番	北嶋信昭君
3番	大和田彰子君	4番	木村優子君
5番	福原一斉君	6番	戸水隆君
7番	宮部修一君	8番	中井康雄君

◎欠席議員（0名）

◎地方自治法第121条の規定による説明のための出席者

中札内村長 森田匡彦君

◎中札内村長の委任を受けて出席した者

副村長	山崎恵司君	総務課長	中道真也君
住民課長	山崎副村長兼務	福祉課長	高桑佐登美君
総務課長補佐	下浦強君		

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 平澤悟君 書記 植松菜々美君

◎議事日程

日 程 第 1		会議録署名議員の指名
日 程 第 2		会期の決定
日 程 第 3	議案第 1 号	中札内村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
日 程 第 4	議案第 2 号	令和 5 年度中札内村一般会計補正予算について

◎開会宣告

- 議長（中井康雄君） ただいまの出席議員数は8人です。
定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年第1回中札内村議会臨時会を開会いたします。
ただちに、本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手もとに配布したとおりです。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（中井康雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、6番戸水議員と7番宮部議員を指名いたします。

◎ 日程第2 会期の決定

- 議長（中井康雄君） 日程第2、会期の決定を議題にいたします。
お諮りします。
この臨時会の会期は、本日1日にしたいと思います。
このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。
したがって、会期は本日1日に決定いたしました。

◎日程第3 議案第1号 中札内村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

- 議長（中井康雄君） 日程第3、議案第1号、中札内村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを議題にいたします。
提出者から提案理由の説明を求めます。
森田村長、登壇願います。

（森田匡彦村長登壇）

- 村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。
本案件は、戸籍法の一部を改正する法律及び昨年12月6日付で公布、本年3月1日から施行される地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、現行条例の内容を調整する必要が生じたことから、手数料徴収条例の一部改正を行うものであります。
詳細につきましては、副村長より説明を申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいようお願い申し上げます。

- 議長（中井康雄君） 補足説明、山崎副村長。
○副村長（山崎恵司君） それでは、補足して説明をさせていただきます。
黒ナンバー3番、議案関係資料をご用意ください。

今回の改正につきましては、戸籍法の一部改正及びその改正に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正されたことによるものですが、その改正概要について説明させていただきます。

まず、戸籍法の改正、施行により戸籍謄本等の広域交付及び戸籍電子証明書などの発行が可能となり、本籍地以外での戸籍謄本等の取得及び戸籍電子証明書等により戸籍届け出時の戸籍証明書等の添付の省略が可能となります。このことにより、本条例において、それぞれの発行手数料について規定する必要が生じたため、改正しようとするものであります。

次に、新旧対照表により説明させていただきますが、資料の1ページをお開きください。

はじめに、戸籍及び除籍証明書の交付について説明いたします。資料1ページ、別表の改正表なのですが、5行目、太字でちょっと記載しております。5行目の戸籍証明書の交付及び、1ページめくってもらって、3ページの2行目、除籍証明書の交付については、戸籍法第120条の2第1項の新設により改正するもので、本籍地以外の市区町村において、戸籍及び除籍謄本等を取得できる広域交付に関する規定で、手数料は現行と同様、それぞれ1通につき450円、750円としております。

次に、電子証明書提供用識別符号の発行について説明させていただきます。

2ページ、2行目、戸籍電子証明書提供用識別符号の発行及び、資料4ページ、1行目、除籍電子証明書提供用識別符号の発行は戸籍法第120条の3第2項の新設により改正するもので、それぞれに交付される電子証明書提供用識別符号の提示により、行政機関が戸籍電子証明書等を確認することができるようになるもので、時期は未定ですが、例えば、パスポートの発給申請など、今まで行政手続申請の際に添付が必要だった戸籍謄本等の提出を省略することが可能となります。また、その交付手数料はそれぞれ1件につき400円、700円となっております。

次に、資料5ページ、2行目、届書等情報の内容の証明書の交付及び、同じページ、4行目下段、6ページにまたがっているのですが、届書等情報の内容を表示したものを閲覧に供する事務は、戸籍法第120条の6第1項の新設により改正するもので、利害関係人が受理地で届書等情報の内容の閲覧又は届書等情報の内容の証明書の交付を請求することができるようになります。また、交付等手数料はそれぞれ証明書の交付については1通につき350円、閲覧については1件につき350円となっております。

なお、今回の改正は令和6年3月1日から施行いたします。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第1号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

4番木村議員。

○4番（木村優子君） まず、ちょっと確認をしたいのが、すみません、戸籍電子証明書提供用識別符号というのがあることで、例えば、戸籍抄本などを付けなくて、添付が必要な書類に付けなくてよくなるというような説明だったかなと理解をしたのですが、この符号というのはいったいどういう形で、例えば、省略されるということは申請書に何か、私がパッと浮かぶのはQRコードみたいな、何か証明できるようなものが印字されているから、添付が必要ないというような形の書面になるのかなというふうな今の説明で感じたのですが、これを使うことで、いつ戸籍抄本とか、謄本取るために、例えば、450円のもの、400円で済んだり、除籍謄本を750円のもの、700円になったり、50円

安くなるということで、書類が必要ない分そうなるのか、その辺の書類の様式なんかもう少し詳しく説明していただくと分かりやすいかなと思うのですけれども。

よろしくをお願いします。

○議長（中井康雄君） 山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 符号の関係なのですけれども、例えば、例をとって挙げるとマイナンバーカード、これに電子証明書という機能が付いているのをご存じでしょうか。

自分を証明する機能、そのマイナンバーカードを持っていることによって、自分自身を、例えば、私でしたら、山崎という人間が今申請手続きをしているよという証明になる訳です。

それと同じようなものというふうに捉えていただければと思います。ただし、これは、先ほど説明の中で言いましたけれども、今後の取組みということになっています。ですから、まだ符号が付番されていません。

例をとってみますと、全て例なので申し訳ありませんが、パスポートの申請、これは旅券法の改正が当然絡みます。同じような申請で児童扶養手当、これも別の法律、それは電子的な証明がされた符号があることによって、自分を証明する番号をそれとして認める法律改正がまだなされていないので、適用はまだ先ということになっています。

結果的に、その符号を発行することによって、それにはパスワードが設定されることになっていますから、例えば、パスポートということになれば、道内であれば発給センター、札幌にございますけれども、中札内の役場を窓口として申請を受けて、それをパスポートセンターに送付、そこでパスポートが発行される。この処理の時には必ず戸籍に関する書類を添付することになっていますけれども、その時に今の電子戸籍証明書の符号も含めて、パスワードを設定した符号も含めて、パスポートセンターに送付することによって、パスポートセンター自体で戸籍の確認をして、わざわざ書類が添付されてなくても、その戸籍の確認ができるという、そういう取扱いになるという符号でございます。

ですから、実際それに様式というものが存在するのかということ、現実的には様式というのは存在しないというふうに認識しておりますので、その符号の部分については短期間のパスワードを設定したマイナンバーカードに設定されている電子証明書のようなものというふうに認識をいただければなというふうに思っているところでございます。

○議長（中井康雄君） よろしいでしょうか。

4番木村議員。

○4番（木村優子君） 分かりました。

マイナンバーカードを、それでは取得していない方でも同じ理屈でそういう申請手続きができるという。マイナンバーはマイナンバーカードの符号がそれぞれみんな各自持っていて、マイナンバーカードではないけれども、パスポートだったらパスポートを申請する時にその個人の符号がそれぞれに配付されて、それを使って申請できるということによかったでしょうか。

ちょっとすみません、何かまだ頭の中で整理はできないのですけれど。

それによって、住民の方が手続きをする際に簡略化されて、スムーズに進むということであれば、全然問題ないのですけれども、住民が手続するために、これがもし今後普及していく際に、私のような年齢でもちょっとよく分かっていないので、手続きされる住民の方が戸惑わないように、せつかく安くなるのだったら、安い方を利用、スムーズにできるような方法でご説明いただけるような窓口のサービスとか、そういうことも含めて考えていただきたいなというふうに、今聞いて思ったのですけれども、その点いかがでしょうか。

○議長（中井康雄君） 山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 上手く説明できなくて申し訳ないです。

何しろまだこの符号の関係についても、まだ戸籍上に割り振られているわけでは、個人について割り振られているわけではないので、具体的な取扱いについてはまだ戸籍の所管する法務省か、そちらの方からも流れてきていません。

ただ、マイナンバーカードとの連携というのは、実質的にされるのが戸籍法の改正によってされているわけで、紐づけ作業もされています。

そのことがあるので、個人の確認というものが、紐づけというものができるようになると。将来的には、基本的にオンラインで自分で交付手続きをする時、こういった時にも当然できるようになるというのが将来構想でございますので、マイナンバーカードとの連携というのは、取得することでそういった交付手続きを自宅からでも、例えば、役場の窓口に端末を置いておけば、その端末からでも自分で交付請求もできるということは当然想定されているということでございます。

ただ、今回の改正については、広域交付が可能となったこと、つまり本籍地に出向かなくても、その交付ができると。戸籍謄本、抄本、除籍謄本、抄本、それらの戸籍の書類、それが一番大きな改正点かなというふうに思っているところでございます。

当然のように、今回の改正については住民の皆さんに周知することは当然必要ですので、分かりやすい窓口という点では今後村も新たな住民の窓口のあり方について検討することにしておりますので、そういったことも含めて丁寧に説明をしてまいりたいなというふうに思っているところでございます。

符号については、マイナンバーカード自体が必要、そのマイナンバーカードが必要かどうかという点については本人を確認する書類としてはマイナンバーカードが必要だという認識でいいかなというふうに思っているところでございます。

○議長（中井康雄君） よろしいですか。

ほかに質疑はございますか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） それでは、これで質疑を終わります。

議案第1号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第1号、中札内村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第2号 令和5年度中札内村一般会計補正予算について

○議長（中井康雄君） 日程第4、議案第2号、令和5年度中札内村一般会計補正予算につ

いてを議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長、登壇願います。

(森田匡彦村長登壇)

○村長(森田匡彦君) ただいま、議題に供されました一般会計補正予算の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

既定の歳入、歳出予算の総額に、それぞれ3,152万3,000円を追加し、総額を59億5,115万円に調整したものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長(中井康雄君) 補足説明、中道総務課長。

○総務課長(中道真也君) 令和5年度一般会計補正予算の補足説明を申し上げます。

黒ナンバー2番、一般会計補正予算書をご用意いただき、7ページをお開きください。

また、併せまして、予算説明の詳細につきましては、黒ナンバー3番、議案関係資料9ページから10ページに支給対象者、支給額、今後のスケジュール等を記載しておりますので、参考にご用意いただきたいと思っております。

それでは、補正予算書の7ページ、一般会計の歳出の主なものから説明させていただきます。歳出に関係のある特定財源についても併せて説明いたしますので、歳入では同様の説明を省略させていただきます。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉費、説明欄最上段、児童支援費3,152万3千円の追加は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面する子育て世帯及び低所得世帯のうち住民税均等割のみ課税世帯に対し現金を支給するものであります。

次に、その下段、説明欄の3節職員手当、10節需用費、11節役務費につきましては、職員の時間外勤務手当、用紙や封筒代、郵便料などそれぞれ給付に関連する事務経費となっております。

次に、その下段、19節扶助費、住民税非課税世帯等特別給付金1,300万円の追加は、国の施策として12月議会補正予算で計上いたしました個人住民税非課税世帯以外の世帯であって、住民税均等割のみを課税される世帯に対しまして、1世帯当たり10万円を支給するため100世帯分で1,000万円を、また低所得者の子育て世帯給付金として非課税世帯及び均等割のみ課税世帯への加算措置として当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり5万円を支給するもので、60人分で300万円、合わせて1,300万円を追加しようとするものであります。

次に、その下段、妊婦・子育て世帯臨時特別給付金1,825万円の追加は、国庫補助対象事業となる村独自施策となる支援策として、子どもの健やかな成長と子育て世帯及び妊娠した人の生活を支援するため、令和6年2月1日現在で中札内村に住所を有し、18歳以下の子どもを養育する世帯または令和6年3月31日までに母子手帳を所持している妊婦のいる世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付するものです。内訳として、子育て世帯分で350世帯で1,750万円、妊婦対象者分で15人分の75万円、合わせまして1,825万円を追加しようとするものであります。

なお、特定財源といたしまして国庫補助であります物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,152万3,000円を今回追加する歳出予算全額に対し充当しようとするものであります。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第2号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

4番木村議員。

○4番（木村優子君） それでは、補正予算書7ページの児童支援費についてお伺いいたします。

先ほど説明していただいた支給対象者について、何点か確認をさせていただきたいのですが、まず、2番の「住民税均等割のみ課税世帯」と3番の「こども加算」についてお伺いをします。

こども加算ということなのですが、これは2番の住民税均等割のみ課税世帯の中でお子さんを、18歳までのお子さんを養育、扶養されているという家庭に当たるという考え方で整理してよろしいかということと、あとこども加算については児童1人当たり5万円ということですので、例えば、2番目に対象になる世帯の方でお2人いらっしゃったら2人分という。1人目からきちんと数えて2人分という、そういう整理でよろしかったでしょうか。お願いします。

○議長（中井康雄君） 高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） それでは、対象者の考え方についてご説明を、お答えをしたいと思います。

まず、1点目のこども加算の対象の考え方になりますが、住民税均等割非課税世帯以外の世帯であって、住民税所得割が課税されていない世帯のみで構成されている世帯というふうに記載をしておりますけれども。

これは非課税世帯、均等割、所得割の非課税世帯の子育て世帯と、今回、均等割のみ非課税世帯、両方の世帯の方のお子さんを対象にして。

失礼いたしました。

均等割のみ非課税の世帯の課税、お子さんというふうになります。

○議長（中井康雄君） すみません。休憩いたします。

休憩 午前10時24分

再開 午前10時24分

○議長（中井康雄君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） 住民税非課税世帯で均等割、所得割非課税の世帯と所得割のみ課税されている世帯ということになります。

こども加算につきましては、子ども1人当たり5万円という考え方になります。

○議長（中井康雄君） 休憩いたします。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時26分

○議長（中井康雄君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） 大変失礼いたしました。

2番目の住民税均等割のみ課税世帯と住民税均等割非課税世帯と住民税所得税割が課税されていない世帯のみで構成されている世帯ということで、重複はしません。

こども加算についても重複はしませんけれども、こども1人当たりにつき5万円というのは同様です。

○議長（中井康雄君） よろしいですか。

4番木村議員。

○4番（木村優子君） すみません。質問の意図がちょっと分かりづらかったようで申し訳なかったのですが、確認したかったのは、もちろん所得が低いところに厚く、助成というか、交付されるということがもちろん良いことなので、重複してもらえるところがどういう形になっているのかなというふうなことを確認したかったので、先ほどの答えだと重複は、1番、2番、3番では重複してもらえないという理解でよろしかったでしょうか。

○議長（中井康雄君） 高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） 1番、2番、3番で重複する世帯はありません。

○議長（中井康雄君） よろしいですか。

ほかに質疑はございますか。

1番船田議員。

○1番（船田幸一君） 1点だけ質問させていただきます。

先ほど物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,152万3,000円と。その中で①、②、③というふうに区分をされ、そして、①番については中札内村の独自というふうなお話がありました。

この国の交付金について、使用の用途について、①番は物価高騰対策とはちょっとニュアンスが違うような気がいたしますけれども、その点についての補足説明をお願いいたします。

○議長（中井康雄君） 山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 物価高騰対策の視点での支援策とはちょっと違うのではないかと、いうご意見だったというふうに、ご質問だったというふうに思います。

ただ、物価高騰のこれまでの村の単独施策等についても同じですけれども、物価高騰の影響を受ける、影響を大きく受ける可能性のある世帯としてやっぱり子育て世帯というのは非常に大きいというふうに判断しておりましたので、同様の考え方によってこの物価高騰対策としての、村単独としての措置についても、同様の目的を達成できるものというふうに判断しているところでございます。

○議長（中井康雄君） よろしいですか。

ほかに質疑はございますか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） それでは、質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第2号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第2号、令和5年度中札内村一般会計補正予算についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

これで本日の日程はすべて終了いたしました。

会議を閉じます。

令和6年第1回中札内村議会臨時会を閉会いたします。

閉会 午前10時30分